



HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング
「ひよっこクラブ」
しゅんさん

はじめの第一歩を踏み出すためのささやかなお手伝いを。

今回は、HIVを持っている人たちにサービスを提供している「ひよっこクラブ」のしゅんさんにお話を伺いました。

エイズ対策のキーパーソンたち



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町17-5 翼ビル4F
☎& 06-6361-9300
http://www.mash-osaka.com/

秋号の紙面VIEW

- 2面 老後の来ないゲイはない！
- 8面 隣の芝生「四條畷保健所」
- 4面 大阪謎解き散歩
- 7面 海外男街通信「モンゴル」

MASH大阪(以下M)：ひよっこクラブはどんなプログラム？
しゅん…HIV陽性とわかって間もない人たちのグループ・ミーティングなんです。以前は感染がわかってから6カ月以内、いまは1年以内の人たちを対象にしています。2009年より開始されたプログラムですが、現在は、NPO法人CHARMが厚労省からの受託事業として運営しています。

M…ミーティングの目的は？
しゅん…個人情報を守られている環境のなかで自分の思い、他者の思いを語り合い、これからの一歩につなげることにあります。

M…対象となる人たちの範囲が「6カ月以内」に広がったのはなぜ？
しゅん…最近のHIV診療は、なるべく早く服薬を始める方針が取られています。そうすると感染がわかってから服薬を始める間の期間が短くなります。病院に通い、福祉関連の手続きをやるうちに6カ月はあっという間に過ぎてしまう。仕事を続けながら治療に通う人が増えていることもあります。

M…皆さん、忙しくなった(笑)。
ミーティングではどんなプログラムを提供されていますか？
しゅん…3回連続のミーティングなのですが、1回目は、安心して話せる場をみんなで作ります。「みんな」というのは、参加者、同じHIV陽性で会を支えるピアサポーター、それにスタッフサポーターの3者。スタッフサポーターは対人援助の経験がある人です。

M…3回目は？
しゅん…1回目と2回目の経験をふまえて本音を語り合う場です。実は○○のことが話したかったんや」「母親のことを聴いて欲しかった」「セックスのことみんなどうしてるんかな」など、当事者同士が経験を共有してはじめて言えることが出てきます。

M…なるほど。繰り返されたプログラムという印象ですが、6年間続けてきて、参加者がこのプログラムを通じて経験すること何だと思えますか？
しゅん…感染が分かった時点で、その人はHIV陽性者というレッ



テルを引き受けることになるわけですが、そのレッテルを非常に重たいものとして、「自分は社会のなかでも特別な存在なんだ」という風に受け止めがちです。それが「ひよっこクラブ」で様々な人たちと交流するうち「自分の一部が変わったにすぎないんだ」という具合に変化していく。回を重ねるごとに顔の表情もかわり、マスクやサングラスが取れていく。これが最初に申し上げた、これからの一歩につながっていく。

M…6年間参加して、どんな手ごたえを感じていますか？
しゅん…一年以上の準備期間を経て立ち上げたのですが、いざやってみると、参加する方々が話されることは身につまされることもあれば、「へえー、そうなんか!」とびっくりすることもあり、メチャメチャ面白いと感じています。それと、当事者、支援者、医療従事者など立場の違う人たちが立場を超えて協働することを通して「社会として」がっている「感覚を持つ」ことができました。

M…最後に、「ひよっこクラブ」に課題があるとするは何でしょう？
しゅん…こういう場を必要としているけれど、まだつながっていない人たちにどう呼びかけるか、ですね。そのためには、そうした人たちのニーズをもっと知らないといけないと思っています。

M…どうもありがたうござました。

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です 大阪府版(2015年8月28日現在)

エイズの知識を深め、HIV検査に行ってみませんか？

以下の検査施設では、無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。検査日時については各保健所等へ直接へ直接ご確認ください。

*道順等の詳細についても、各保健所等へ直接お問い合わせください。

[大阪市] 北・中央・淀川区保健福祉センターでは、4月1日からクラミジアの検査方法が血液検査から尿検査に変更になりました。	
北区保健福祉センター ● 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・火・木・金曜日／9時30分～11時 水曜日／14時～15時30分
中央区保健福祉センター ● 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	平日／9時30分～11時
淀川区保健福祉センター ● 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日／14時～15時30分 火曜日／9時30分～11時
chotCASTなんば (大阪検査相談・啓発・支援センター) 大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3F 火・木・土曜日／☎06-6632-0632 日曜日／☎06-4256-8681 ※いずれも検査実施時間帯のみ。	火・木曜日／18時～20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★／14時～15時30分(先着50名) HIV・B型肝炎 ※13時30分に整理券を配布

[堺市]	
堺保健センター ● 堺市堺区甲斐町東3-2-6 ☎072-238-0123	第2木曜日／9時～11時
中保健センター ● 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日／9時～11時
東保健センター ● 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日／9時～11時
西保健センター ● 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳保健文化センター内) ☎072-271-2012	第1金曜日／9時～11時
南保健センター ● 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日／9時～11時
北保健センター ● 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日／9時～11時
ちぬが丘保健センター ● 堺市堺区協和町3-128-4(健康福祉センター内) ☎072-241-6484	第1水曜日／13時30分～15時30分
美原保健センター ● 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日／13時30分～15時30分
堺市保健所(夜間検査) 堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	第3水曜日／18時30分～20時
さかいサンサンサイト ★ 堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	第1土曜日／10時30分～12時(先着20名)
[東大阪市]	
東保健センター ● 東大阪市旭町1-1 ☎072-982-2603	第1・3木曜日／9時30分～11時
中保健センター ● 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日／9時30分～11時
西保健センター ● 東大阪市高井元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日／9時30分～11時

[高槻市]	
高槻市保健所 ● 高槻市城東町5-7 ☎072-661-9332	金曜日／9時30分～10時30分
[豊中市]	
豊中市保健所 ★ 豊中市中塚塚4-11-1 ☎06-6152-7316	第3木曜日／13時～14時 ※10月から第1火曜日も実施。
[枚方市]	
枚方市保健所 ● 枚方市中垣内町2-2-2 ☎072-845-3151	火曜日／10時～11時30分

[大阪府]	
池田保健所 ● 池田市満寿美町3-19 ☎072-751-2990	第1・2・3火曜日／13時30分～14時30分
吹田保健所 ● 吹田市出口町19-3 ☎06-6339-2225	第2・3・4金曜日／9時30分～10時30分 ※12/25～12/4に振替実施。
寝屋川保健所 ● 寝屋川市八坂町28-3 ☎072-829-7771	水曜日／9時30分～10時30分 ※第5水曜日は実施しない。
守口保健所 ● 守口市梅園町4-15 ☎06-6993-3131	第2・4月曜日／10時～11時
八尾保健所 ● 八尾市清水町1-2-5 ☎072-994-0661	木曜日／9時30分～10時30分 ※12/24・3/31は実施しない。
富田林保健所 ● 富田林市寿町3-1-35 ☎0721-23-2681	第1・3水曜日／13時30分～14時30分
和泉保健所 ● 和泉市府中町6-12-3 ☎0725-41-1342	第2・4水曜日／9時30分～11時 ※9/23→9/30、12/23→12/2に振替実施。
岸和田保健所 ● 岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-5681	第1・3火曜日／13時30分～14時30分
茨木保健所 ★ 茨木市大住町8-11 ☎072-624-4668	第1・2・4・5木曜日／13時～14時
四條畷保健所 ★ 四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1021	第1・3月曜日／9時30分～10時30分
藤井寺保健所 ★ 藤井寺市藤井寺1-8-36 ☎072-955-4181	水曜日／9時30分～10時30分
泉佐野保健所 ★ 泉佐野市上瓦屋583-1 ☎072-462-7703	第1・3月曜日／13時～14時

マークの説明

- HIV検査と同時にクラミジア及び梅毒の検査も無料で出来る施設です。
- ★ 即日検査できる施設です。＊通常の検査では一週間、即日検査はその日のうちに結果がわかります。

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください！

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

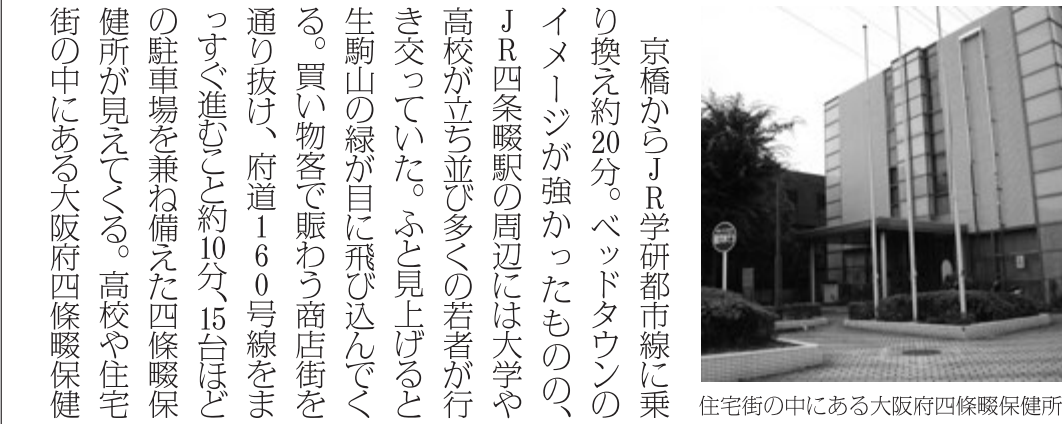
HIV検査や性感染症などに不安がある方 コミュニティ センター ディスタ community center dista 性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を伺い、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。 ☎06-6361-9300 月曜・水曜～日曜／17:00～22:30 火曜休 http://www.dista.be/ 大阪市北区堂山町17-5 翼ビル4階	HIV陽性とわかって間もない方 ひよっこクラブ HIV陽性とわかって間もない人同士が集い、安心できる場所で情報や体験を話したり聞いたりする事で、これからの生活のより良いスタートにつなげていくプログラムです。 http://www.hiyokkoclub.com/	HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性 Cafe・Bar an opportunity ～ただのきっかけ～ HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性がふらっと立ち寄れる場所。谷町6丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日14時～18時に開催しています。 注：月曜日が祝日の場合は第三日曜日 詳細はこちら http://www60.atwiki.jp/anopportunity/
HIV陽性の方、パートナー・家族の方も サポートライン関西 匿名で利用できる電話相談です。かけただけの番号は表示されません。あなたの疑問や心配ごとについて、一緒に考えます。スクリーニング検査で陽性となつた方にもご利用いただけます。 ☎06-6358-0638 月曜・水曜～日曜／19:00～21:00	HIV陽性の方、パートナー・家族の方も エイズに関する様々な相談をしたい方 エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。 ☎0120-177-812 (無料) ※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料) 月曜～金曜／10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)	エイズ予防財団 エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。 ☎0120-177-812 (無料) ※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料) 月曜～金曜／10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

第3回開催
9月9日(水)
19時30分～21時
中高年世代の
「ひよっこクラブ」
「第三回ひよっこクラブ」
「中高年世代のおクスリ」

「ひよっこクラブ」
「第三回ひよっこクラブ」
「中高年世代のおクスリ」

中高年世代だからこそ気になる生活習慣病。病院通いが増えるとも必然的に増えるお薬の量。健やかに過ごすためのお薬からセックスライフにかかわるものまでさまざま…。2014年夏号でもご紹介した「薬と医療の啓発塾」にご協力をお願いし、HIV感染症専門薬剤師の資格を持つ中村美紀さんと、薬剤師で大阪糖尿病療養指導士でもある迫田直樹さんを中心に、参加者の皆さんとわいわい語り合いたいと思います。お時間をございましたらお気軽にご来場ください。

1対1で個人的に相談できる！
薬物やアルコール依存に関する対面相談会
☎0120-177-812 (無料)
※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)
月曜～金曜／10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)
詳細はこちら ▶ http://www.dista.be/



住宅街の中にある大阪府四條畷保健所

「隣の芝生は青い」と言いますが、
「灯台下暗し」という言葉もあるように、意外と
利用しやすい施設が身近にあるかもしれません。
今回は大阪府四條畷保健所にお邪魔し、
保健師の方々にお話を伺ってきました！



大阪府四條畷保健所

住所／〒575-0034 大阪府四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1021
http://www.pref.osaka.lg.jp/shijonawatehoken/chiiki/hiv.html

所で働く保健師の天見さん、正泉寺さん、福本さん、井上さんが施設内を案内してくれました。……
月に2回、第1・第3月曜日に即日検査を実施している大阪府四條畷保健所。プライバシー配慮には特に力を入れていまして「こおっしやる通り、受検者同士が鉢合わせをしないようにパーティションで細かく区切られている。2階に上る手段も階段とエレベーターがあるので誰かと出くわすことも低い。広い待合所にはいろんな団体が作成しているHIV／性感染症の予防啓発資材が所狭しと並んでいる。(創刊号からずらりと並んだ南界堂通信を見て、私も少し感激してしまいました：笑)「検査結果を待つ約1時間、これらの冊子に目を通している人も多いですよ」このこと。携帯をいじる人、音楽を聴く人、読書をする人…、待ち時間の過ごし方は人それぞれ違つうた。基本的に採血前の問診から結果返し後の対応まで同じ保健師が担当している。……不安ことや悩みがあれば保健師が相談に乗ってくれる。

「どんな相談でも対応ができるように、医師の宮園保健所長を中心に、自分



(写真左)案内してくれた正泉寺さん(左)と井上さん(右)。(写真下)広い待合室の一角に設置されている啓発資材。



「即日検査を実施しているので、出張や旅行の合間に検査に訪れる方も多いですよ。奈良方面からはもちろん、JR東西線から検査を受けている方もいます。採血から結果返しまですべて午前中に済んでしまうので、午後からは四條畷に広がるハイキングコースをぶらぶらと散策するのもおすすめです」都会の喧騒から離れて気分転換に四條畷市までお出かけしてみてはいかがですか？

宝塚市議会の議論を考える！

事件のあらまし

各新聞報道によると、同性カップルを結婚に相当する関係と認めて証明書を発行する条例が東京都渋谷区で施行されたことを受け、宝塚市は今年4月、同様の条例制定などを検討する部会を設置。こうした動きに対し、大河内茂太議員(自民)が6月24日の市議会本会議で「宝塚に同性愛者が集まり、HIV(エイズウイルス)感染の中心になったらどうするのか、という議論が市民から出る」「女子校や男子校などでは同性カップルが多い。環境によって後天的に同性愛者になる。学校での児童生徒への啓発活動が同性愛を誘発する可能性を否定できない」などと発言した。これに対し北野聡子議員(市民ネット宝塚)が「HIV感染者や同性愛者への偏見を助長する差別的な発言だ」と批判して、発言の取り消しを求めた。大河内議員は「同性愛者を差別する意図はない」と述べていたが、26日、発言の取り消しを議会運営委員会で申し出て承認された。委員会終了後、取材に同性愛者とHIVには、密接に関わりがあるとい

の共暮らし。「おい、そっちも一人なら、また一緒に住まないか?」。これも人生やねえ。

●UR借家団体のハウスシェア

賃貸住宅なら、URハウスシェア——非親族でも部屋の数まで一緒に賃貸できる——も候補になります。そもそも高齢者とうしの共住ニーズに対応、が制度の導入理由でした。さらに、高齢化・団地過疎問題を抱えるUR団地では、団地自治会が孤独死を出さない見守りや交流(空きテナントなどをカフェや団地の保健室に改修、近隣の学生を住ませ見守りも担当など)に取り組んでおり、そこに参加していくことも安心な暮らし方かもしれません(ただ、セクマイフレンドリーかはわかりませんが)。

●自前グループホーム

自家でアパートをもっているなら、ゲイの借り手をSNSなどで募集し、自身も居住。入居者がたがいに行き来し、あるいは1室は入居者の共同使用部屋として交流など、大家の特権でみずからグループホームを作ってしまう。私もすでに2例ほど知っています。なんだかドリフのアパートみたい(うる！笑)。オックス！

●複数人で空き家賃貸

田舎などで空き家を安く借りられる場合も(家賃1万円とか。笑。老後は田舎で農業生活しながら自

給自足、仲間と第二の人生はいかが？ 買い物先と病院は押さえておきましょう。あと雪かきのいらないところ。

●なりゆきグループホーム

なりゆきゲイタウン

そこまで大仰でなくとも、おなじマンションや団地内にセクマイの友人がいると、実際にはグループホームに近い機能をもつことになり。関西にはUR団地で、やけにゲイ居住率が高いところもあるとか(笑)。また、自転車3分の距離で知り合いを作って、いざというときは駆けつけあい。これらは、お金をけすに今すぐできる命綱です。

●

こう見てみると、共同で住む方法はいろいろあり、時代も「シェア」へ風が吹いています。介護もくよくよ心配するまえに、予防に努めることその肥満と喫煙、深酒をまずは止めましょう。あとは、おなじ仲間を信じながら、かつほどほどの距離を保ってひとつ屋根の下に平和共存する、一人のコミュ力が問われているのではないだろうか。老後もみんなと暮らしたいね。

文 ● 永易至文

1966年生まれ、行政書士、2級FP、ライター・編集者。セクマイのお金と法務に強い「東中野さくら行政書士事務所」を運営。また、セクマイの老後の支え合いを考えるNPO「パープル・ハンズ」事務局長。LGBTポータルサイト「2CHOPO」に「老後の新聞」連載中。



全州において同性婚が認められ、歴史的一歩を踏み出したアメリカ。日本でも渋谷区を筆頭にようやく動きが見えてきたものの、今回の宝塚市議の発言でも分かるように、まずは間違った解釈や偏見を解消していくことから始めねば…この国での同性婚はまだしばらく時間がかかりそうですね。

世の中、同性婚テーマが盛り上がる一方、現実には多くのゲイが自分は単身で高齢期を迎えるであろうと予想しているようです。高齢期をどう送るのか、私もよくめ気になっています。

「ゲイの老後はグループホームでみんなが暮らし」と、私がゲイコミュニティに出入りするようになったころ(80年代末)から聞いていますから、ゲイはかれこれ30年はそんなことを言ってきたようです。そのわりに、いまだに実現したという話を聞きません。あるいは、ゲイの老人ホームを舞台にした映画が話題になったのも記憶にあります(老人ホームがべつにテーマではなかったのですが)。

いま現実にはどんな共同暮らしの形態があるのでしょうか？ 今回はこのへんを整理してみました。

●行政系の老人ホーム

老人ホームでいちばん耳馴染み

事業者が運営する共同生活

行政系の老人ホームが基本、社会福祉法人などが運営し、行政を介して入所するものである一方、株式会社なども参入し、一般の人

●企業系の老人ホーム

行政系の老人ホームが基本、社会福祉法人などが運営し、行政を介して入所するものである一方、株式会社なども参入し、一般の人

●サービス付き高齢者住宅

これまであった高専責や高優賃などのさまざまな高齢者向け住宅を一本化し、国交省と厚労省が共同所管の「高齢者すまい法」によって平成23年から始まったもの。通称「サ高住」。高齢者向けのハードの面(バリアフリー、一定面積25平米や設備)と、見守りサービス(ケア専門家による安否確認、生活相談は必須)が要件です。24時間待機の管理人がいる老人向けワシントンマンションといったイメージ。有料老人ホームなどと異なり、高額な入居一時金は不要です。そこを自宅として、介護や診療が必要な場合は近隣の提携先から訪問介護や訪問医療に求めてもらいます。安否確認や相談以外の、食事付きやその他のサービス部分は施設によってさまざま、これから値段とともに多様化が見込まれます。基本、賃貸マンションですので、合わなければ引っ越すことも可能。

また、公営住宅でサ高住同様バリアフリー設備や見守りなどのある高齢者向けのものをシルバーハウジングと呼んでいます。

●自宅に同居人を募る

身体も頭もまだ動く、でも一人が不安で他人と住みたい、相手もない。なら、同居者(間借り人)募集はどう？ 自分所有のマンションならだれも文句はないでしょう。相続で親の家が転がり込む場合もあります。同居者と生活もシェアすれば、食費など生活費も節約可能。昔の彼氏といまふたたび

●UR借家団体のハウスシェア

賃貸住宅なら、URハウスシェア——非親族でも部屋の数まで一緒に賃貸できる——も候補になります。そもそも高齢者とうしの共住ニーズに対応、が制度の導入理由でした。さらに、高齢化・団地過疎問題を抱えるUR団地では、団地自治会が孤独死を出さない見守りや交流(空きテナントなどをカフェや団地の保健室に改修、近隣の学生を住ませ見守りも担当など)に取り組んでおり、そこに参加していくことも安心な暮らし方かもしれません(ただ、セクマイフレンドリーかはわかりませんが)。

●自前グループホーム

自家でアパートをもっているなら、ゲイの借り手をSNSなどで募集し、自身も居住。入居者がたがいに行き来し、あるいは1室は入居者の共同使用部屋として交流など、大家の特権でみずからグループホームを作ってしまう。私もすでに2例ほど知っています。なんだかドリフのアパートみたい(うる！笑)。オックス！

●複数人で空き家賃貸

田舎などで空き家を安く借りられる場合も(家賃1万円とか。笑。老後は田舎で農業生活しながら自

給自足、仲間と第二の人生はいかが？ 買い物先と病院は押さえておきましょう。あと雪かきのいらないところ。

●なりゆきグループホーム

なりゆきゲイタウン

そこまで大仰でなくとも、おなじマンションや団地内にセクマイの友人がいると、実際にはグループホームに近い機能をもつことになり。関西にはUR団地で、やけにゲイ居住率が高いところもあるとか(笑)。また、自転車3分の距離で知り合いを作って、いざというときは駆けつけあい。これらは、お金をけすに今すぐできる命綱です。

●

こう見てみると、共同で住む方法はいろいろあり、時代も「シェア」へ風が吹いています。介護もくよくよ心配するまえに、予防に努めることその肥満と喫煙、深酒をまずは止めましょう。あとは、おなじ仲間を信じながら、かつほどほどの距離を保ってひとつ屋根の下に平和共存する、一人のコミュ力が問われているのではないだろうか。老後もみんなと暮らしたいね。

文 ● 永易至文

1966年生まれ、行政書士、2級FP、ライター・編集者。セクマイのお金と法務に強い「東中野さくら行政書士事務所」を運営。また、セクマイの老後の支え合いを考えるNPO「パープル・ハンズ」事務局長。LGBTポータルサイト「2CHOPO」に「老後の新聞」連載中。



市民がつくりあげた街「大阪」 性的少数者の権利運動と、市民自治の街大阪

同性婚合法化の波

ここ数カ月、レズビアンやゲイなど性的少数者の人権に関するニュースがさかんにメディアで報じられている。大きなところではアイルランドでの国民投票による同性婚合法化やアメリカでの同性婚合憲判決などがある。同性婚は性的少数者の人権を考える上で重要な課題である。「結婚」という制度そのものの是非はあるが、社会の中に結婚できる人となれない人がいるのは不平等であり、まずはその不平等を解消することが重要だ。その意味で同性婚は、その国や地域で性的少数者の人権が守られているのの否かをはかる重要な目安だと言えるだろう。同性婚獲得運動とは、その意味で公民権運動なのだ。

一方の日本社会でも、国が何ら対策を取ろうとしない中、法曹界や地方自治体のレベルで具

体的なアクションが起こっている。「日本で同性婚が認められていないことは人権侵害である」とする人権救済申立や、東京都渋谷区での同性パートナーシップ証明などは画期的な動きだろう。これらは単なる「欧米への追従」でもなければ「オリンピック対策」でもない。これらの出来事の後には、数十年にわたる先人たちの努力がある。ウィマンリブやゲイリブといった権利運動、セックスワーカーの人権や外国籍住民の人権、エイズに関する市民運動などがそれぞれある。世の中はすぐには変わらない。市民が立ち上がり、連帯し、膨大な経費を蓄積してきたからこそ、今、時宜を得て「性的少数者の人権」が社会の課題として広く認識されるにいたったのである。新聞紙上で連日のように「性的少数者の文字」を見て、私は世の中の変化を実感する。私自身さまざまな市民運

保健師 保良せきの功績

そして大阪である。思い起せば大阪という街には、まさに市民自治の伝統がある。戦国時代に多くの権力者の干渉をはねのけて寺院による自治を目指した石山本願寺（今の大阪城）、自治都市界など枚挙にいとまがない。江戸時代の学問所「懷徳堂」は市民の出資でつくられたし、大正時代の重建懷徳堂も商人たちが出資してつくられ

民主主義の本義は 熟議にあり

大阪のこれからを考える時、市民自治は重要だ。折しも世の中ではこれまで沈黙していた若者が声を上げはじめている。先日私は京都で学生が主催する安全保障法制反対のデモを若者た



ちと共に歩き、新しい時代を実感した。民主主義の本義は熟議であり多数決ではない。多数決が民主主義ならそもそも野党は必要ない。立場の異なる多様な意見をじっくりとまとめあげるプロセスこそが熟議であり民主主義である。多様性の尊重や他

者への想像力が民主主義を成熟させる。同性婚の容認という世界的潮流と市民社会がこれからどのような関係を切り結んでいくのか。民主主義を愛する一人の市民として、国内外の動きに注目している。

文 ● 山田創平

京都在住の大学教員。専門は地域研究だが、実際にやっているのは地域のおいしいもの研究（人も食べ物も！）。

絵 ● プブ・ド・ラ・マドレーヌ

リハビリ中のドラッグクイーン。大阪市東淀川区生まれ。絵を描いたりデモに行ったりしています。

注1：宮川康子、山田創平「アーツカウンシルと大阪の市民社会」（『大阪アーツカウンシル設立に向けた事例調査・フォーラム開催等事業報告書』所収）11頁、2013年

男色エンタメ紀行

ゲイが主人公でも当たり前の時代…

フィクションの世界で 描かれるゲイの物語



きるなんてすごい時代！などと思っていけれど、それから14年後にこんな色んな作品が、成人誌ではなく、一般誌で連載されるとは予想だにせず、これからのどれくらい増えていくのか期待しています。

2011年1月、フジテレビ「フイタミナ」枠にて放送されたテレビアニメ「放浪息子」。

深夜枠のアニメでしたが、主人公は女の子になりたい男の子、性別や人間関係に悩む複雑な物語で、男の子になりたい女の友人と制服を取り換えこして登校するなど、ネタやギャグ描写、ファンタジーではなくリアルな心理、自分の願望として行動を起していく、なんだか痛々しくも見えるその様はとても生々しいものでしたが、淡々と話が進んでいき、なんととも言えない青さが鼻の奥を少しツンツンさせてくれました。

その原作漫画の作者、志村貴子先生の新作「娘の家出」（ミラクルジャンプ連載）もなかなか

「一般誌にて田亀源五郎先生が『弟の夫』の連載を決定した時には大変な衝撃を受けました。最近、漫画雑誌にて題材がLGBT（性的少数者）を取り扱っているものも多いように感じます。ひいては『BL進化論』なる本まで発売されています。（BLとはLGBTイシューを混同するのはどうかと言いつつとは置いておいて。）

以前、里見満先生（現 さとみつ男児）が「一般誌『MANGA オールマン』でゲイを取り上げたことはとてもドキドキしながら読んでいて、「これを連載で

俗にいう腐女子系ゲイ。漫画がとても大好きすぎて、破産寸前に追い込まれたことも。今、気になっている漫画はジャンプ7月17日増刊予定のSQ.CROWN『ハーレム漫画の主人公だが同性愛者なのので毎日がツライ』です。

※BL：ボーイズラブ。男性同士の性愛を描いた女性向けの漫画や小説のこと。

文 ● 白髪 の まるた

「間違ってソッケさんが入ってくる事もあるんですけど笑いなながら語って下さったのは、通天閣のお膝元に構えるハッテンサウナ・英都に勤めて10年になる従業員の本さん。」

中高年層が集まるサウナというイメージが強いものの、実際には若者や観光客の利用も多々、第1、第4金曜日は30歳以下の入館料が1200円というお得なキャンペーンも実施している。人と接する事を目的に来館する方も多いため、館内にあるラウンジでは、缶ビール片手に

「間違ってソッケさんが入ってくる事もあるんですけど笑いなながら語って下さったのは、通天閣のお膝元に構えるハッテンサウナ・英都に勤めて10年になる従業員の本さん。」

中高年層が集まるサウナというイメージが強いものの、実際には若者や観光客の利用も多々、第1、第4金曜日は30歳以下の入館料が1200円というお得なキャンペーンも実施している。人と接する事を目的に来館する方も多いため、館内にあるラウンジでは、缶ビール片手に



お客さんとの
交流がある
ゲイショップ！

ちょっと
寄り道！
男街
新世界編

通天閣まで続くアーケード内にゲイショップを構えて12年、「人生の最後にゲイ関係の仕事がしたかった！」と語るのは、ブロードウェイのマスター（67歳）。お客さんからは「オッサン」と呼ばれ慕われている。DVDよりも下着や張り型といったグッズ類が豊富に並ぶ店内を見渡すと、「更衣室」の文字が飛び込んでいる。店内で販売している下着や六尺などすぐに穿いても「ええま〜」この事。

そしてこの更衣室を利用する方も多いらしく、希望があれば

ブロードウェイ
営業時間：10時〜22時
住所：大阪市浪速区
恵美須東1-21-2
アヤ&ミフ1F
☎06-6636-4568

ビジネスイン
英都
客層は40〜70代。
24時間営業・年中無休
住所：大阪市浪速区
恵美須東1-19-7
☎06-6633-1801
料金：休憩 2000円、
宿泊 2600円

for you
男 友

「まじゅんの会」

この南界堂通信と同じく
中高年層に向けたコミュニティペーパー
「さくら新聞」が沖縄で創刊されました。
今回はそのさくら新聞をユニーコ・沖縄と
協働作成をする「ゲイの老後を考えるまじゅんの会」に
お話を伺いました。

MASH大阪(以下M)：まじゅんとはどういう意味なのですか？

まじゅん(以下ま)：沖縄の方言で「一緒に」という意味合いになります。

M：まじゅんの会を作るきっかけは？

ま：50代って孤独だよね」という会話をちらほら聞くこともあったのですが、県内には同年代で集まれるサークルのようなものがなかったので、メンバー募集のポスターを作成し、沖縄のコミュニティセンターmabuiに掲示したのが始まりです。3年前の話になります。

M：活動は順調にスタートしたのですか？

ま：なかなかメンバーも集まらず最初の1年で解散の危機に陥りました。実際に去って行ったメンバーもいますが、細々と続けていたところ、同じような悩

みを抱えた人からのアクセスも徐々に増え、今では月に一度定例会を開催しています。

M：沖縄における中高年層ゲイが抱く悩みはどんな事があるのですか？

ま：沖縄出身のメンバーもいますが、東京や隣の奄美大島(鹿児島県)から移住してきた方もいます。

M：沖繩における中高年層ゲイが抱く悩みはどんな事があるのですか？

ま：一番大きな割合を占めるのは「家族」との関わり方でしょうか。沖縄は家の繋がりが非常に重く、家やお墓を代々継承していかなくてはなりません。その為長男にのしかかるプレッシャーは非常に大きく、家族のみならず親族までもが「結婚はまだなのか？」と口を出してきます。また、先祖様を大切にする風習が強く、お盆や清明祭(シミミ)などを取り仕切る

M：沖繩における中高年層ゲイが抱く悩みはどんな事があるのですか？

ま：知らない土地の方が自由に生きられると沖縄を離れる人も多いですが、離れたとしても家族の繋がりが薄れることはなく、冠婚葬祭の度に戻らなくてはならない。また中高年に限っては既婚者ゲイの割合が多いような気がします。ゲイであることをひた隠し、バレる事を恐れてゲイバーにも行けず、肩身の狭い生活を送っている。そういう人たちの息抜きの場にもなればいいなと思っています。

M：定例会ではどんな話を話したりますのですか？

ま：普段の会話の延長線上から生まれてくる話題や、その時に抱えている悩みや不安などを吐き出す事が息抜きにも繋がって



いくと思うので、毎回これといったテーマを設定している訳ではないんです。話したい人が話したい事を話す。とにかく話す」という事が大切なプロセスだと思っています。少なくとも孤独ではなくりますし、「次は何を話そうかな」と考えたりすると月に一度しかない定例会が待ち遠しくなったりして。ああだ「こた」と話す事が元気の源でもあり、健康でいる為の秘訣だと思ふんです。世間話で終わってしまう事もありますけどね(笑)。

M：老人ホームの見学会?! それは確かに面白そう！

ま：年齢を重ねるとどうしても先が見えてくるので夢見がちではいられなくなりますが、いろんな老後を過ごすかは人それぞれ違うと思いますが、「選択肢のひとつとして老人ホームがあるのあれば実際に見てみるってみよう!」と(笑)。

M：まきに会話の延長線上から生まれた企画といえますね。今後の展望とかはあるのですか？

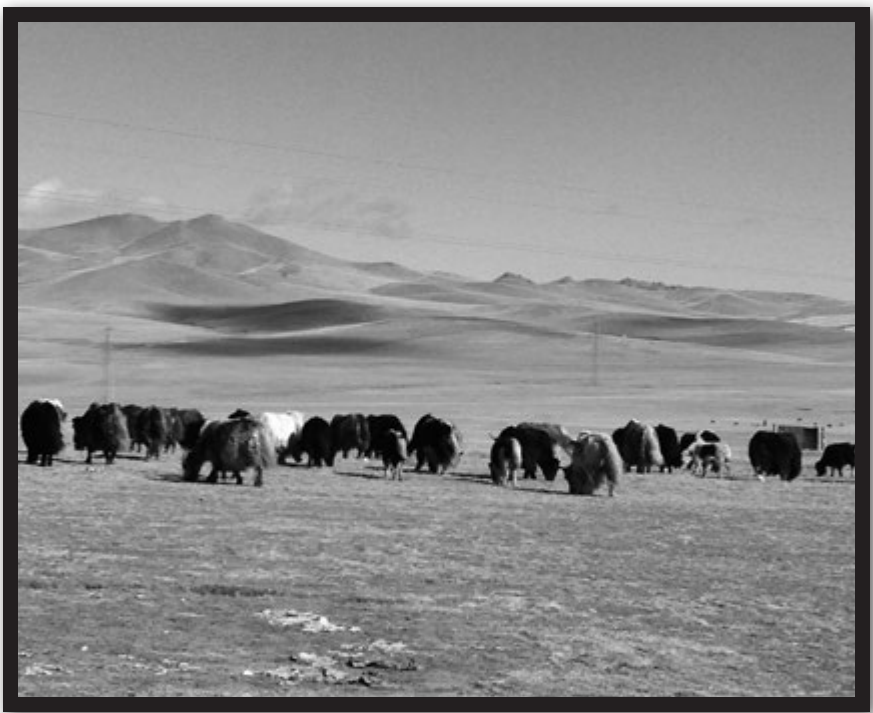
ま：「コミュニティの場としてまじゅんの会を細々と続けていきながら、さくら新聞のネタを溜めていきたいなど。もちろん面白い企画も計画していくつもりです。

M：今後の活動にこうご期待!」って感じですね。今日はありがとうございました。



by Kazuhide Ichikawa

海外男街通信



秋のモンゴル。車を郊外へ1時間も走らせれば、ヤクの集団に出くわすこともある。



首都ウランバートルでよく見かける風景。交通渋滞が深刻な大気汚染の原因のひとつ。

Mongolia

めざましい経済開発とはウラハラな
モンゴルの男街事情

日本でゲイNGOのみなさんとHIV感染の予防啓発活動に関わってきたことから、同じ目的で活動しているモンゴルのゲイNGO*1と出会う機会があったのが2009年。その後2010年から、年に一回のペースでモンゴルを訪れている。モンゴルNGOの代表も毎年日本に呼び、大阪でPlus+finalに参加し、distraにも訪問している。モンゴルというと、絵本の「スーホの白い馬のように、果てしなく続く青空と緑の草原の大地で人びとは馬を乗り回し、羊や牛を放牧しながらゲルで暮らしている」と想像する方が多いのではないだろうか。

実際のところは全人口約280万人の半数近くが草原ではなく、首都のウランバートルで暮らしている。モンゴルは近年発掘されたレアメタルをめぐって海外からの開発支援・投資が活発になっていて、ウランバートルはただ今高層ビルの建築ラッシュ。人の流入・流出も盛んになっている。

そういう状況であれば、ウランバートルのゲイタウンもそれなりの賑わいをみせているのでは、と思われるだろう。だが残念なことに、ウランバートルどころかモンゴルにはゲイタウンはない。それっぽい通りもない。なぜかと言うと、この国でも杜



ウランバートルで唯一セクシュアリティにオープンだったバー“HANZO”。柱に「カオナシ」が描かれていたのが印象に残っている。

ゲイNGOは、モンゴル社会の性的マイノリティに対する偏見や差別、そしてゲイコミュニティにもみられるHIV/AIDSへの否定的な考えに対応するために、日本で生まれたプロジェクト「Living Together」計

画**をモンゴルに持ってきて、モントル版「We are living under the same sky」(UD0001)として2011年から展開し、年に4~5回のペースで開催している。昨年10月に参加したLUSSは、主旨を理解してくれるソソケの商業施設を借り、異性間で感染した男性、女性の陽性者が体験談を紹介し、またTV等で知られる芸能人が手記を朗読するなど、幅広い参加者と共有するイベントに60人ほどが集まっていた。日本の「全ての人がHIVとともに生きている」というメッセージが、モンゴルでは「みんな同じ空の下で生きている」として共有され、差別や偏見をなくすことに取り組んでいる。

ゲイのみんなが集う場所がなかなか確保できない状況にあっても、NGOはネットワークを開拓して、彼らの活動に触れたことのないゲイへのアウトリーチに力を注いでいる。日本ではMASH大阪をはじめとするNGOと共にクラブやバーの利用者を対象とするインターネットによるアンケート調査を実施しているが、モンゴルでもNGOと共に2年にわたり実施し、活動の成果を共有している。

彼らが来日した折に、彼らの取り組みを日本のゲイコミュニティに紹介できればと思っている。

文●高久道子

市川先生の研究のサポートをしています。第二の故郷は中米の熱帯国パナマ。ゆえに暑さにはめっぽう強いが、寒さには…。

文●市川誠一

日本のHIV感染の疫学者。今年3月に名古屋市立大学看護学部を退職し、4月から人間環境大学大学院看護学研究科の特任教授を務める。2010年以来毎年モンゴルを訪問しているが、いつもマイナス〇度の極寒の時期にあたってしまい、「正直しんどい」と思っている。が、次回も1月の訪問が決まっている。

*1 モンゴルのゲイNGO：Youth for Health (ゲイ・バイセクシュアル男性のセクシュアルヘルス)、Together Center (HIV検査の提供)、Human Rights Support Center (陽性者支援や人権)と異なる3団体がスクラムを組んで、MSMを対象にHIV感染の予防啓発活動や早期検査や陽性者支援を行っている。

*2 「Living Together 計画」：HIVを持っている人も、持っていない人も、すでに一緒に生きているというリアリティを共有するためのプロジェクト。「HIVは身近な存在」というメッセージを伝えることを目的として2004年に日本で生まれ、HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記を集めて冊子を制作・配付したり、それをもとにした朗読イベントを開いたり、クラブイベントや写真展、研修会のワークショップ、学校の授業…と、さまざまな場所、さまざまな形・アプローチが試みられてきた。



モンゴルの陽性者とその周囲の人の手記を集めたLUSSの資料。



モンゴルのNGOメンバー。Youth for Health NGOのミーガ(右)は来日経験があり、日本のゲイNGOとも交流が深い。この数年日本からの送金節約のため5000個のコンドームを持ち帰る。